

平成29年度 健康すいた21推進懇談会

健康すいた21(第2次)推進に向けた地域・団体等及び市の取組(案) 分野1「栄養・食生活」

目標

おいしくバランスよく食事ができる

- ①栄養や食生活についての正しい知識や情報を持つ
②朝食の欠食を減らし、栄養バランスのよい食事をする

評価指標 ※【】は目標値(平成32年度)

- ①朝食を抜くことが週3回以上ある人の割合【減少】
②朝食を毎日食べる子どもの割合【100%(小学6年生、中学3年生)】
③食塩を多くとる傾向がある人の割合【男性:18.4%以下、女性:3.9%以下】
④食生活において栄養バランスを重視する人の割合【68.6%以上】

【吹田市医師会】

	取組・企画	内容	今後の工夫・改善点等
既存の取組	(1) 特定健診の結果、情報提供または特定保健指導の受診勧奨、実施。 目標 ① 指標 ③ ④	・市民の特定健診の結果をリスク別に「情報提供」、「動機づけ支援」、「積極的支援」に階層化し、運度や食事を中心とした生活習慣改善のための保健指導(=特定保健指導)を受診勧奨または実施する。	引き続き特定健診の実施、特定保健指導の受診勧奨を行う。
	(2) 「食事と健康」についての記事掲載 目標 ① ② 指標 ③ ④	・「健康すいた」平成28年8月号において、高血圧ガイドラインの生活習慣改善ポイントを中心に、食生活、運動習慣改善の注意点等を紹介。	今後も栄養や食生活について、健康すいた等の広報記事に掲載する。
今後考えられる取組	(1) 広報媒体で市民に栄養や食生活の正しい知識や情報を伝える。 目標 ① ② 指標 ③ ④	・市民公開講座や市報すいた「ドクターメモ」、「健康すいた」にて、疾病の予防として、栄養や食生活の正しい情報を広報する。	

目標 おいしくバランスよく食事ができる ①栄養や食生活についての正しい知識や情報を持つ ②朝食の欠食を減らし、栄養バランスのよい食事をする	評価指標 ※【】は目標値(平成32年度) ①朝食を抜くことが週3回以上ある人の割合【減少】 ②朝食を毎日食べる子どもの割合【100%(小学6年生、中学3年生)】 ③食塩を多くとる傾向がある人の割合【男性:18.4%以下、女性:3.9%以下】 ④食生活において栄養バランスを重視する人の割合【68.6%以上】
--	--

【吹田市歯科医師会】

	取組・企画	内容	今後の工夫・改善点等
既存の取組	(1)歯の学校 (市口腔ケアセンター事業) カミカミセンサーを用いて噛むことの効用を児童とともに考える。 目標 ① 指標	・小学校3年生を対象に行っている歯の学校にて、カミカミセンサー(顔に装着して噛む回数がカウントできる機能)を使用して、おせんべい等を食べて、自分の噛む回数を把握し、「噛む」ことの効用の「ひみこのはがーぜ」という言葉にかけて子どもたちと考える。	
	(2)お口の健康体操教室 判定ガムを用いて、咀嚼について啓発をしている。 目標 ① 指標	・65歳以上の高齢者対象の口腔機能向上のための教室において、咀嚼力判定ガム(キシリトールガムで咀嚼力によって色が緑からピンクに変化するガム)を用いて、噛むことの効用を説明している。	
今後考えられる取組	(1)口腔ケアセンターの情報コーナーで行っている「歯とお口の健康デスク」において市民全般を対象に咀嚼力判定ガムを使用して、噛むことの効用を啓発していく。 (市口腔ケアセンター事業) 目標 ① 指標	・「歯とお口の健康デスク」では、週替わりで色々な口腔機能判定をしているが、その中に咀嚼力判定ガムを追加することとする。	

平成29年度 健康すいた21推進懇談会
健康すいた21(第2次)推進に向けた地域・団体等及び市の取組(案) 分野1「栄養・食生活」

目標

おいしくバランスよく食事ができる

- ①栄養や食生活についての正しい知識や情報を持つ
- ②朝食の欠食を減らし、栄養バランスのよい食事をする

評価指標 ※【】は目標値(平成32年度)

- ①朝食を抜くことが週3回以上ある人の割合【減少】
- ②朝食を毎日食べる子どもの割合【100%(小学6年生、中学3年生)】
- ③食塩を多くとる傾向がある人の割合【男性:18.4%以下、女性:3.9%以下】
- ④食生活において栄養バランスを重視する人の割合【68.6%以上】

【吹田市薬剤師会】

	取組・企画	内容	今後の工夫・改善点等
既存の取組	(1)各店舗で、体調などの相談を受ける中で、パンフレット等も使ってお話をする。 目標 ① ② 指標 ① ② ③ ④	・健康であるための一般的な食生活についての情報提供。糖尿病・高血圧・高尿酸血症・便秘症等の患者さんへの食養生について個別に話をする。当然三食をキチンととることの必要性も話題となる。	
今後考えられる取組	(1)サポート薬局制度の推進 目標 ① ② 指標 ① ② ③ ④	・「ドラッグストア」や「調剤薬局」という業態ができるまでの「町の薬局」では訪れるお客さんへの①②等の働きかけは、ごく普通のことでした。分業が進み調剤に重点を置いた薬局では①②のような患者さんへの働きかけは調剤報酬に反映されないため、重きを置かれなくなりがちであったと思われる。最近「サポート薬局」という制度が作られたが、24時間対応・営業時間強化等薬剤師の労働強化ばかりが目立ち、必ずしもその本質を抑えた制度となっていない。	

平成29年度 健康すいた21推進懇談会
健康すいた21(第2次)推進に向けた地域・団体等及び市の取組(案) 分野1「栄養・食生活」

目標

おいしくバランスよく食事ができる

- ①栄養や食生活についての正しい知識や情報を持つ
- ②朝食の欠食を減らし、栄養バランスのよい食事をする

評価指標 ※【】は目標値(平成32年度)

- ①朝食を抜くことが週3回以上ある人の割合【減少】
- ②朝食を毎日食べる子どもの割合【100%(小学6年生、中学3年生)】
- ③食塩を多くとる傾向がある人の割合【男性:18.4%以下、女性:3.9%以下】
- ④食生活において栄養バランスを重視する人の割合【68.6%以上】

【吹田市社会福祉協議会】

	取組・企画	内容	今後の工夫・改善点等
既存の取組	(1)地区福祉委員会で一人暮らし高齢者等を対象に、福祉委員がお弁当を個別に自宅にお届けする配食サービスを実施。 目標 ② 指標 ④	・延べ 927 名の地域住民に対して、安否確認を兼ねて福祉委員がお弁当を個別に自宅にお届けする。	
	(2)市内 33 地区福祉委員会で実施している地域住民を対象にした「ふれあい昼食会」「いきいきサロン」「子育てサロン」を通して、栄養バランス等の啓発、周知活動。 目標 ① ② 指標 ③ ④	・保健センターや地域包括支援センター等から講師をお招きして、栄養バランスを意識した食生活等の知識を高める。	
	(3)地区福祉委員やCSW(社協の相談員)が「すいた健康サポーター」を受講。 目標 ① ② 指標 ③ ④	・保健センター主催の「すいた健康サポーター講座」を受講して、自身や地域での活動の場で、栄養に関して理解を深める。	
今後考えられる取組	目標 指標		

平成29年度 健康すいた21推進懇談会
健康すいた21(第2次)推進に向けた地域・団体等及び市の取組(案) 分野1「栄養・食生活」

目標

おいしくバランスよく食事ができる

- ①栄養や食生活についての正しい知識や情報を持つ
- ②朝食の欠食を減らし、栄養バランスのよい食事をする

評価指標 ※【】は目標値(平成 32 年度)

- ①朝食を抜くことが週 3 回以上ある人の割合【減少】
- ②朝食を毎日食べる子どもの割合【100%(小学 6 年生、中学 3 年生)】
- ③食塩を多くとる傾向がある人の割合【男性:18.4%以下、女性:3.9%以下】
- ④食生活において栄養バランスを重視する人の割合【68.6%以上】

【吹田商工会議所】

	取組・企画	内容	今後の工夫・改善点等
既存の取組	目標 指標		
今後考えられる取組	(1)減塩や食生活に関する啓発 目標 ① 指標 ③ ④	健康診断事業時に、市などが発行する減塩や適切な食生活に関するチラシを配架する。	
	(2)健康づくりにビジネスとして取り組む市内事業所の創出 目標 ① 指標 ③ ④	事業者向けに医療領域における知見を紹介するセミナーを開催し、ビジネスとして取り組むきっかけづくりをする(平成 31 年度予定)	

平成29年度 健康すいた21推進懇談会
健康すいた21(第2次)推進に向けた地域・団体等及び市の取組(案) 分野1「栄養・食生活」

目標

おいしくバランスよく食事ができる

- ①栄養や食生活についての正しい知識や情報を持つ
- ②朝食の欠食を減らし、栄養バランスのよい食事をする

評価指標 ※【】は目標値(平成32年度)

- ①朝食を抜くことが週3回以上ある人の割合【減少】
- ②朝食を毎日食べる子どもの割合【100%(小学6年生、中学3年生)】
- ③食塩を多くとる傾向がある人の割合【男性:18.4%以下、女性:3.9%以下】
- ④食生活において栄養バランスを重視する人の割合【68.6%以上】

【吹田地区栄養士会さんくらぶ】

	取組・企画	内容	今後の工夫・改善点等
既存の取組	(1)男性料理学校 女性料理学校 高齢者料理学校 目標 ① ② 指標 ③ ④	・食に関する知識の向上のため、希望に応じた料理技術・情報の提供を行っている。	月1回を目標に開催
	(2)子ども料理教室 目標 ① ② 指標 ② ④	・「食べるもの」のことを自分で考え、選び、作ることができるよう、見て、さわって、楽しく料理しながら「子どもの食の自立」を目指している。	
	(3)家庭教育学級への料理教室及び栄養講座 目標 ① ② 指標 ② ③ ④	・小学生の保護者対象に、食に関する知識向上のため、料理技術・情報の提供を行っている。	出来るだけ保護者のリクエストに対応する
	(4)「みんなの健康展」参加 目標 ① ② 指標 ① ③ ④	・「食」に関する情報の提供や食事相談を行っている。	来場者の興味ある話題を考え、情報を提供する。
今後考えられる取組	目標 指標		

平成29年度 健康すいた21推進懇談会
健康すいた21(第2次)推進に向けた地域・団体等及び市の取組(案) 分野1「栄養・食生活」

目標

おいしくバランスよく食事ができる

- ①栄養や食生活についての正しい知識や情報を持つ
- ②朝食の欠食を減らし、栄養バランスのよい食事をする

評価指標 ※【】は目標値(平成 32 年度)

- ①朝食を抜くことが週 3 回以上ある人の割合【減少】
- ②朝食を毎日食べる子どもの割合
【100%(小学 6 年生、中学 3 年生)】
- ③食塩を多くとる傾向がある人の割合
【男性:18.4%以下、女性:3.9%以下】
- ④食生活において栄養バランスを重視する人の割合【68.6%以上】

【吹田市 PTA 協議会】

	取組・企画	内容	今後の工夫・改善点等
既存の取組	(1)学校より毎月「保健だより」が配布され、さらに各家庭において内容を家族が共有。 目標 ① ② 指標 ① ②	・各学校で月々における健康面のアドバイスを児童・生徒に向けられている。	・各家庭だけで各自、取り組むだけでなく、委員会等での集まりの時に広く話題を拡げ、意識を高めていく。
今後考えられる取組	(1)日々食事できることを当たり前せずに食事できることに感謝の目を向ける。 目標 ① ② 指標 ① ② ④	・「おいしいね」「おいしいね」と声を掛け合えるような心の余裕に努める。	・上記をさらに実施 ・夜更かしを減らし、朝、食事にかかる時間を大切にする。

平成29年度 健康すいた21推進懇談会
健康すいた21(第2次)推進に向けた地域・団体等及び市の取組(案) 分野1「栄養・食生活」

目標

おいしくバランスよく食事ができる

- ①栄養や食生活についての正しい知識や情報を持つ
- ②朝食の欠食を減らし、栄養バランスのよい食事をする

評価指標 ※【】は目標値(平成32年度)

- ①朝食を抜くことが週3回以上ある人の割合【減少】
- ②朝食を毎日食べる子どもの割合【100%(小学6年生、中学3年生)】
- ③食塩を多くとる傾向がある人の割合【男性:18.4%以下、女性:3.9%以下】
- ④食生活において栄養バランスを重視する人の割合【68.6%以上】

【吹田市体育振興連絡協議会】

	取組・企画	内容	今後の工夫・改善点等
既存の取組	目標 指標		
今後考えられる取組	(1)出前講座を活用した栄養・食生活に関する研修の実施 目標 ① 指標 ③ ④	・地区研修では、これまで主にスポーツ関係の出前講座を活用しているが、栄養・食生活に係るテーマの出前講座についても活用する。	

平成29年度 健康すいた21推進懇談会
健康すいた21(第2次)推進に向けた地域・団体等及び市の取組(案) 分野1「栄養・食生活」

目標

おいしくバランスよく食事ができる

- ①栄養や食生活についての正しい知識や情報を持つ
- ②朝食の欠食を減らし、栄養バランスのよい食事をする

評価指標 ※【】は目標値(平成 32 年度)

- ①朝食を抜くことが週 3 回以上ある人の割合【減少】
- ②朝食を毎日食べる子どもの割合【100%(小学 6 年生、中学 3 年生)】
- ③食塩を多くとる傾向がある人の割合【男性:18.4%以下、女性:3.9%以下】
- ④食生活において栄養バランスを重視する人の割合【68.6%以上】

【吹田市健康づくり推進事業団】

	取組・企画	内容	今後の工夫・改善点等
既存の取組	(1)ノルディック・ウォーク&ヘルシーランチの会 目標 ① 指標 ③ ④	・ノルディック・ウォークをしてランチ会場に到着後、吹田産の野菜を使用したランチを食し、栄養士から栄養指導を受ける。	今後も年 1 回を目標に開催
	(2)食育 SAT システムの活用 目標 ① 指標 ③ ④	・学校等各種団体に SAT システムを貸出し利用者が自分に適した食品を選択する能力を体験・反復学習で養う。	随時、貸出しについて広報し利用者を増やす。
	(3)みんなの健康展 目標 ① 指標 ③ ④	・栄養士会の取り組みとして「食べ方サット診断」を実施し、食事アドバイスをを行っている。	市民の理解が進むよう団体と調整していく。
今後考えられる取組	 目標 指標		

平成29年度 健康すいた21推進懇談会
健康すいた21(第2次)推進に向けた地域・団体等及び市の取組(案) 分野1「栄養・食生活」

目標

おいしくバランスよく食事ができる

- ①栄養や食生活についての正しい知識や情報を持つ
- ②朝食の欠食を減らし、栄養バランスのよい食事をする

評価指標 ※【】は目標値(平成32年度)

- ①朝食を抜くことが週3回以上ある人の割合【減少】
- ②朝食を毎日食べる子どもの割合【100%(小学6年生、中学3年生)】
- ③食塩を多くとる傾向がある人の割合【男性:18.4%以下、女性:3.9%以下】
- ④食生活において栄養バランスを重視する人の割合【68.6%以上】

【大阪府吹田保健所】

	取組・企画	内容	今後の工夫・改善点等
既存の取組	(1)健康づくり協力店「うちのお店も健康づくり応援団の店」の拡大 目標 ① 指標 ③ ④	・栄養成分表示やヘルシーメニューの提供、ヘルシーオーダー等に取り組む「うちのお店も健康づくり応援団の店」協力店を拡大する。 ・上記協力店が「府民が選ぶヘルシーメニュー人気コンテスト」へ応募することを支援する。	V.O.S.メニューロゴマークの認知度を上げる。
	(2)野菜たっぷり・適油・適塩メニュー(V.O.S.メニュー)の普及 目標 ① 指標 ③ ④	・中食・外食において、野菜たっぷり・適油・適塩メニュー(V.O.S.メニュー)を普及する。	
今後考えられる取組	目標 指標		

平成29年度 健康すいた21推進懇談会

健康すいた21(第2次)推進に向けた地域・団体等及び市の取組(案) 分野1「栄養・食生活」

目標

おいしくバランスよく食事ができる

- ①栄養や食生活についての正しい知識や情報を持つ
- ②朝食の欠食を減らし、栄養バランスのよい食事をする

評価指標 ※【】は目標値(平成 32 年度)

- ①朝食を抜くことが週 3 回以上ある人の割合【減少】
- ②朝食を毎日食べる子どもの割合【100%(小学 6 年生、中学 3 年生)】
- ③食塩を多くとる傾向がある人の割合【男性: 18.4%以下、女性: 3.9%以下】
- ④食生活において栄養バランスを重視する人の割合【68.6%以上】

【吹田市】

	取組・企画	内容	備考 (今後の工夫・改善点等)
既存の取組	①マタニティクッキング 目標 ① ② 指標 ④	妊娠期の栄養や食事のとり方、減塩について講義や調理実習を通して学ぶ。 また、離乳食づくり体験を行い、赤ちゃんの食のスタートとなる離乳食づくりが負担にならないよう支援する。	【保健センター】 平成 29 年度新規事業
	②地域リハビリテーション活動支援事業 目標 ① ② 指標 ④	高齢者の自立支援の取組の実践の浸透・拡大をめざすため、自立支援型ケアマネジメント会議の開催回数を増やして実施するとともに、合わせて事業所への研修会も行う。 自立支援型ケアマネジメント会議の助言者には栄養士、歯科衛生士の出務を依頼しており、介護保険要支援認定者等のケアプランに対して、筋力や体力アップのための栄養指導や栄養吸収のための口腔ケアのための評価等を実施することで、効果的に高齢者の自立支援と生活課題解決を図ることを支援する。	【高齢福祉室】 ・平成 29 年度新規事業 ・平成 30 年度は自立支援型ケアマネジメント会議の開催回数を増やして実施する。
	③キッズ健康サポーター教室(すいた健康サポーター事業) 目標 ① ② 指標 ②	すいた健康サポーター事業において、平成 28 年度から、市内の小学校 4 年生を対象とした「キッズ健康サポーター教室」を実施している。 平成 29 年度は内容をリニューアルし市内 4 校で実施。食事、運動、休養など健康な生活習慣の重要性や家族の健康の重要性などを盛り込んだ授業を行った。	【保健センター】 平成 30 年度は対象校を 8 校程度に増やし実施する予定。
	④健康情報拠点推進事業(すいたん健康プロジェクト) 目標 ① 指標 ③	民間商業施設において (1)「減塩」の啓発活動のためにフードモデルやパネルの展示による啓発イベントを実施。 (2)「減塩」をテーマに、ポスター掲示やちらしの配架、商品への POP 表示による常時啓発を実施(平成 29 年度中予定)。	【保健センター】 「野菜の摂取量を増やす」「牛乳・乳製品の摂取量を増やす」等新たな啓発テーマについても順次検討。

	取組・企画	内容	備考 (今後の工夫・改善点等)
今後考えられる取組	①食育推進事業	年 1 回実施している食育講演会のテーマの設定にあたり、評価指標の進捗状況等を踏まえ、更なる取組が必要となる項目に焦点を当てたものとなるようテーマを検討。	【保健センター】 平成 31 年度予定
	目標 ① ② 指標 ④		